

令和 6 年度鹿児島県循環器病対策推進協議会

本県の循環器病の動向について



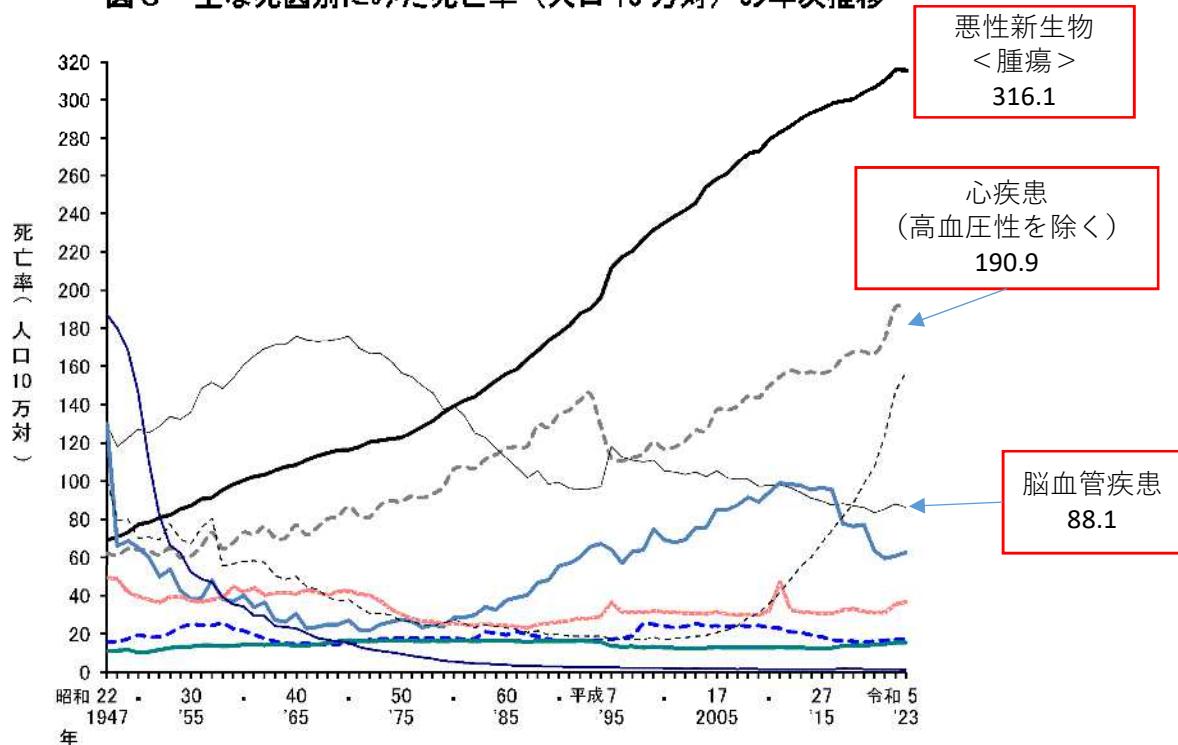
鹿児島県保健福祉部健康増進課

1 全国の死因の状況（出典：人口動態統計）

(1) 全国における死亡率の推移

心疾患は増加傾向にあり、脳血管疾患は減少傾向である。

図6 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



(2) 全国における令和5年の死因の順位

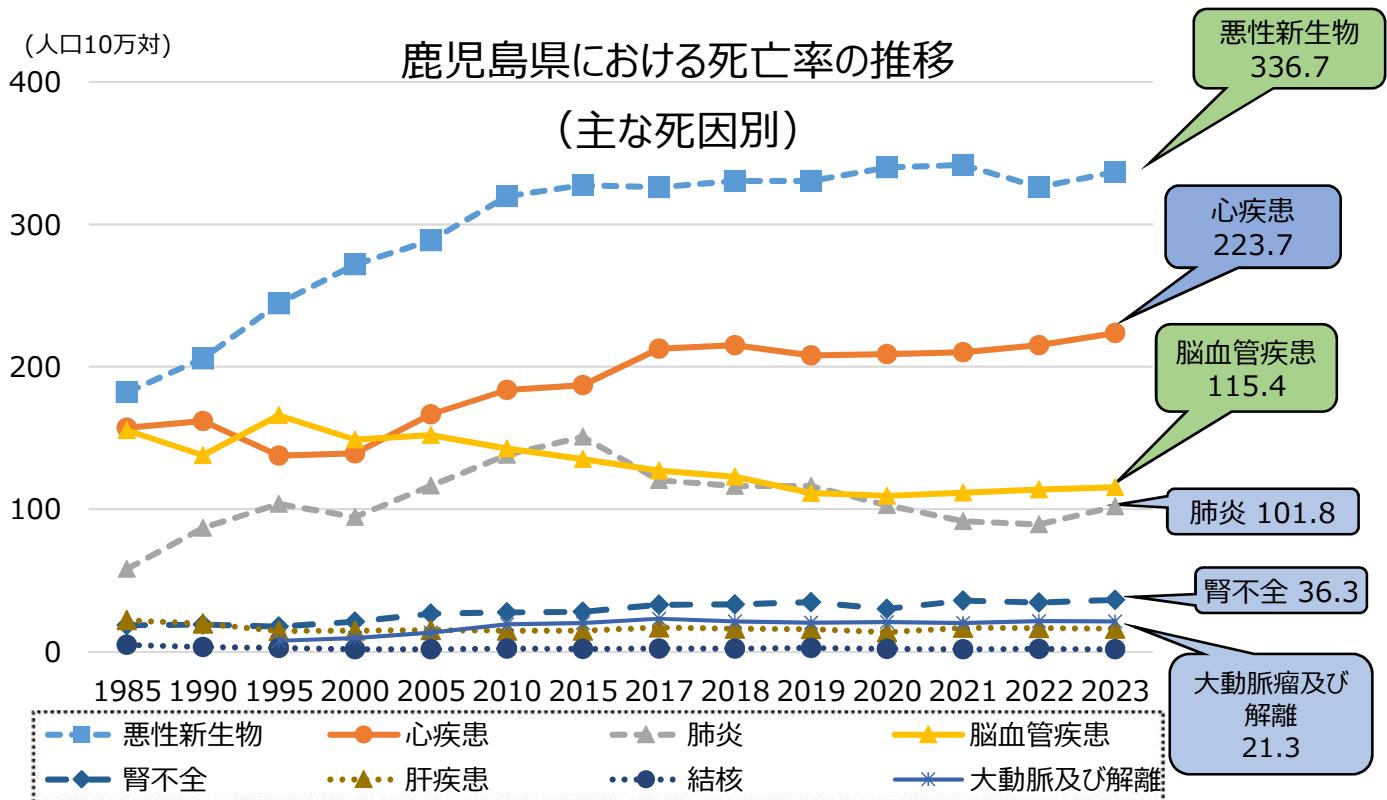
心疾患と脳血管疾患が占める割合は21.3%で、主な死亡の原因となっている。

死因順位	死 因	死亡総数に占める割合
1位	悪性新生物	24.3%
2位	心疾患（高血圧性を除く）	14.7%
3位	老衰	12.1%
4位	脳血管疾患	6.6%
5位	肺炎	4.8%
6位	誤嚥性肺炎	3.8%
7位	不慮の事故	2.8%
8位	新型コロナウイルス感染症	2.4%
9位	腎不全	1.9%
10位	アルツハイマー病	1.6%

2 本県の死因の状況（出典：人口動態統計）

(1) 本県における死亡率の推移

心疾患は増加傾向にあり、脳血管疾患は減少傾向である。



(2) 本県における令和5年の死因の順位

脳血管疾患、心疾患をはじめとする循環器疾患は、主な死亡の原因となっており、死亡総数の約5分の1を占める。
(単位：人)

死因順位	死因	死亡数	死亡総数に占める割合
1位	悪性新生物	5,161	21.3%
2位	心疾患（高血圧性を除く）	3,430	14.2%
3位	老衰	2,903	12.0%
4位	脳血管疾患	1,769	7.3%
5位	肺炎	1,561	6.4%
6位	誤嚥性肺炎	951	3.9%
7位	不慮の事故	695	2.9%
8位	新型コロナウイルス感染症	683	2.8%
9位	腎不全	557	2.3%
10位	アルツハイマー病	451	1.9%

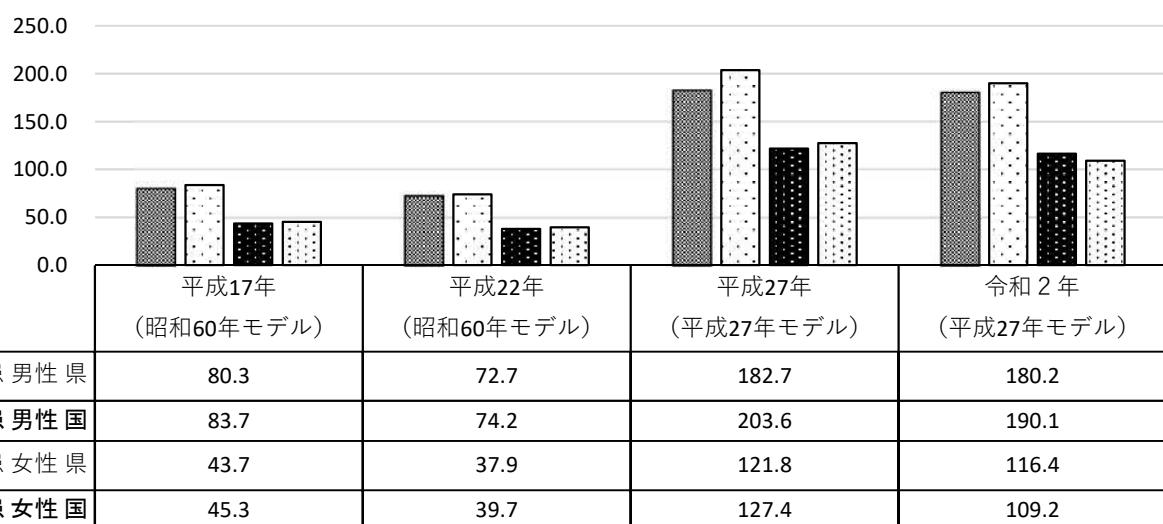
3 年齢調整死亡率の推移 (出典：人口動態統計)

(1) 心疾患の年齢調整死亡率の推移

本県の心疾患の年齢調整死亡率は減少している。

男性は全国を下回っており、女性は全国を上回っている。

心疾患の年齢調整死亡率（人口10万人対）

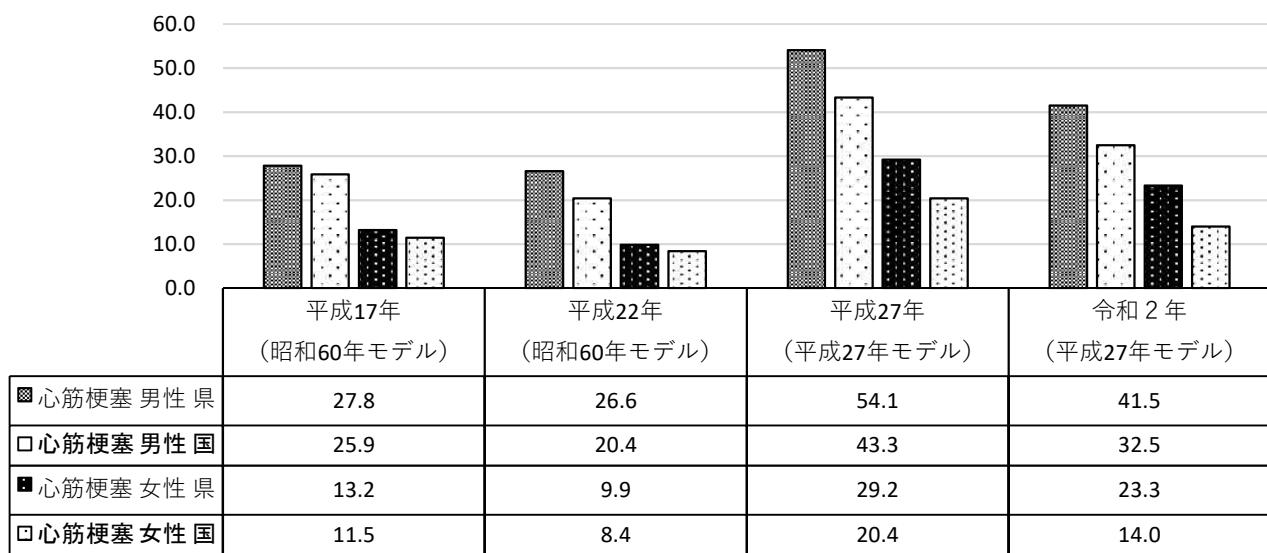


※ 年齢調整死亡率：厚生労働省では、人口動態統計における年齢調整死亡率の算出にあたっては、平成2年から昭和60年モデル人口（昭和60年の国勢調査人口を基に補正した人口）を使用していたが、モデル人口が現実の人口構成と異なってきたことから、令和2年から平成27年モデル人口（平成27年の国勢調査人口を基に補正した人口）を使用することとしている。なお、図表の平成22年までは、昭和60年モデル人口を使用している。

(2) 急性心筋梗塞の年齢調整死亡率の推移

本県の急性心筋梗塞による年齢調整死亡率は減少しているが、男女ともに全国を上回っている。

急性心筋梗塞の年齢調整死亡率（人口10万人対）

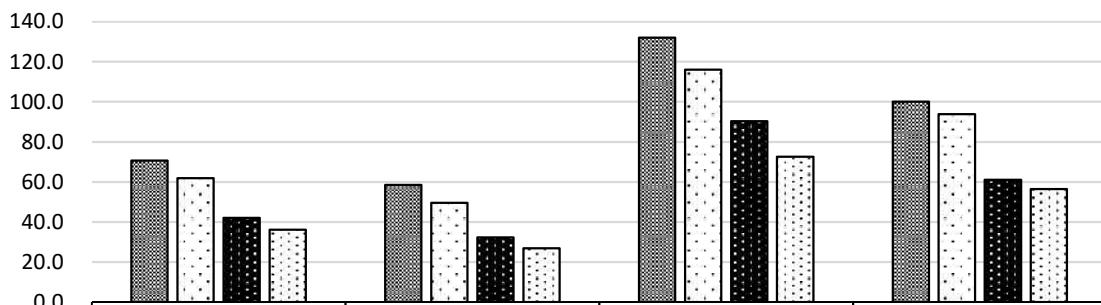


3 年齢調整死亡率の推移 (出典：人口動態統計)

(3) 脳血管疾患の年齢調整死亡率の推移

本県の脳血管疾患の年齢調整死亡率は減少しているが、男女ともに全国を上回っている。

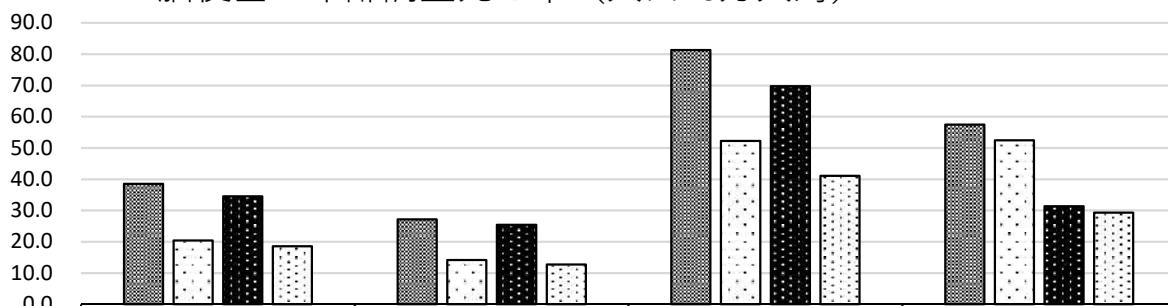
脳血管疾患の年齢調整死亡率 (人口10万人対)



(4) 脳梗塞の年齢調整死亡率の推移

本県の脳梗塞の年齢調整死亡率は減少しているが、男女ともに全国を上回っている。

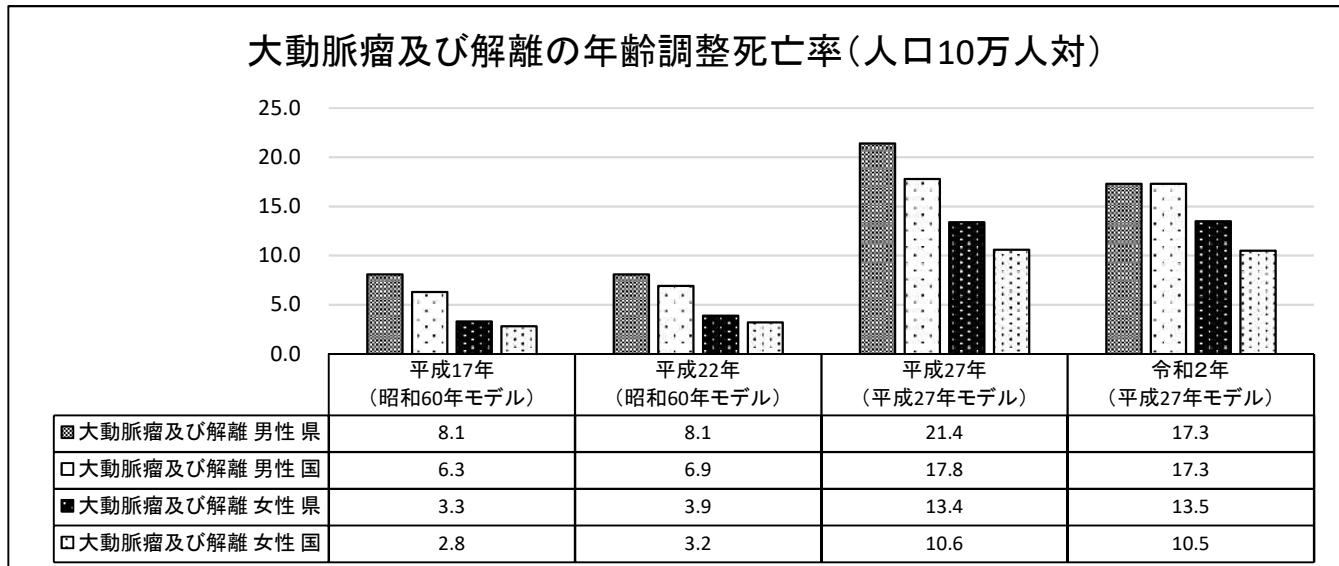
脳梗塞の年齢調整死亡率 (人口10万人対)



3 年齢調整死亡率の推移 (出典：人口動態統計)

(5) 大動脈瘤及び解離の年齢調整死亡率の推移

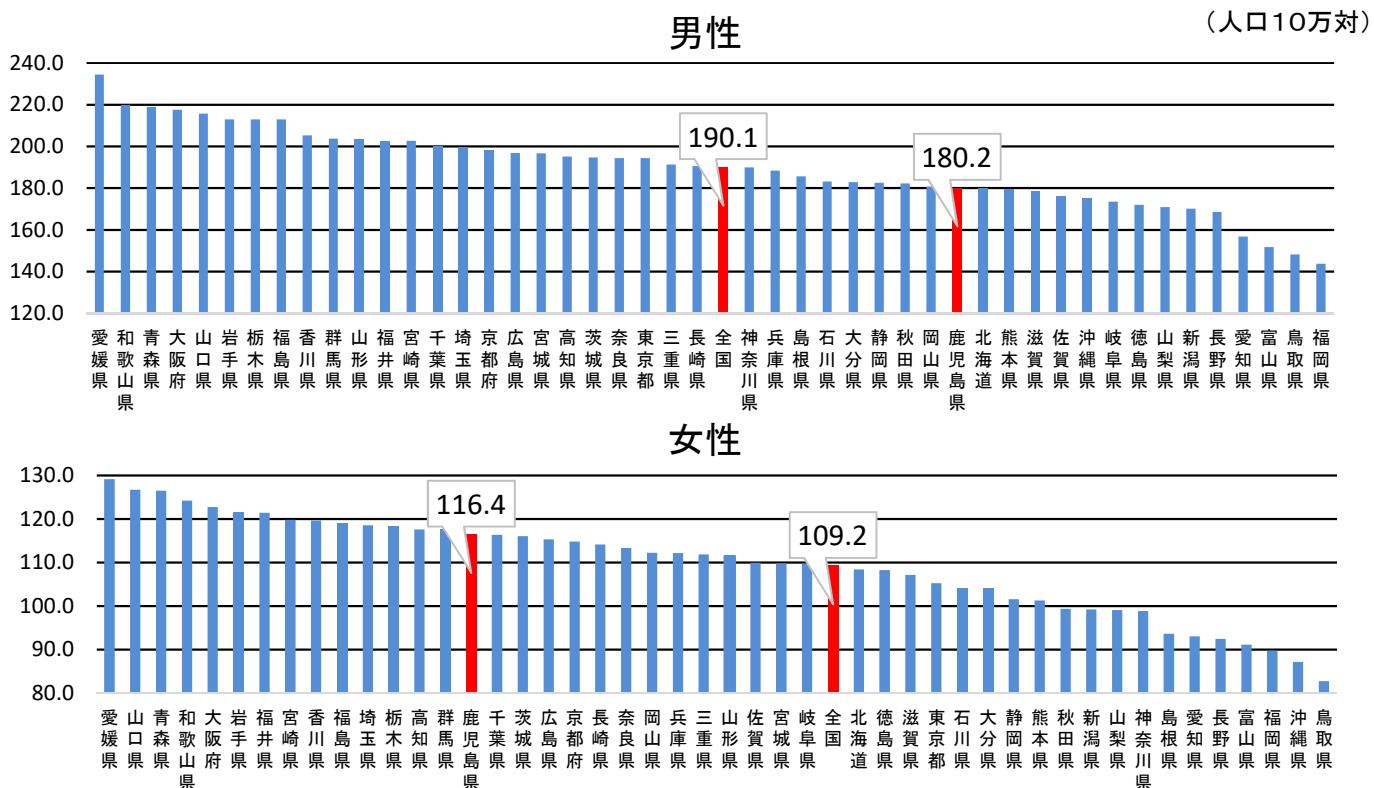
本県の大動脈瘤及び解離年齢調整死亡率は、男性は減少しているが、女性は微増している。男性は全国と同程度で女性は全国を上回っている。



4 都道府県別年齢調整死亡率（出典：人口動態統計）

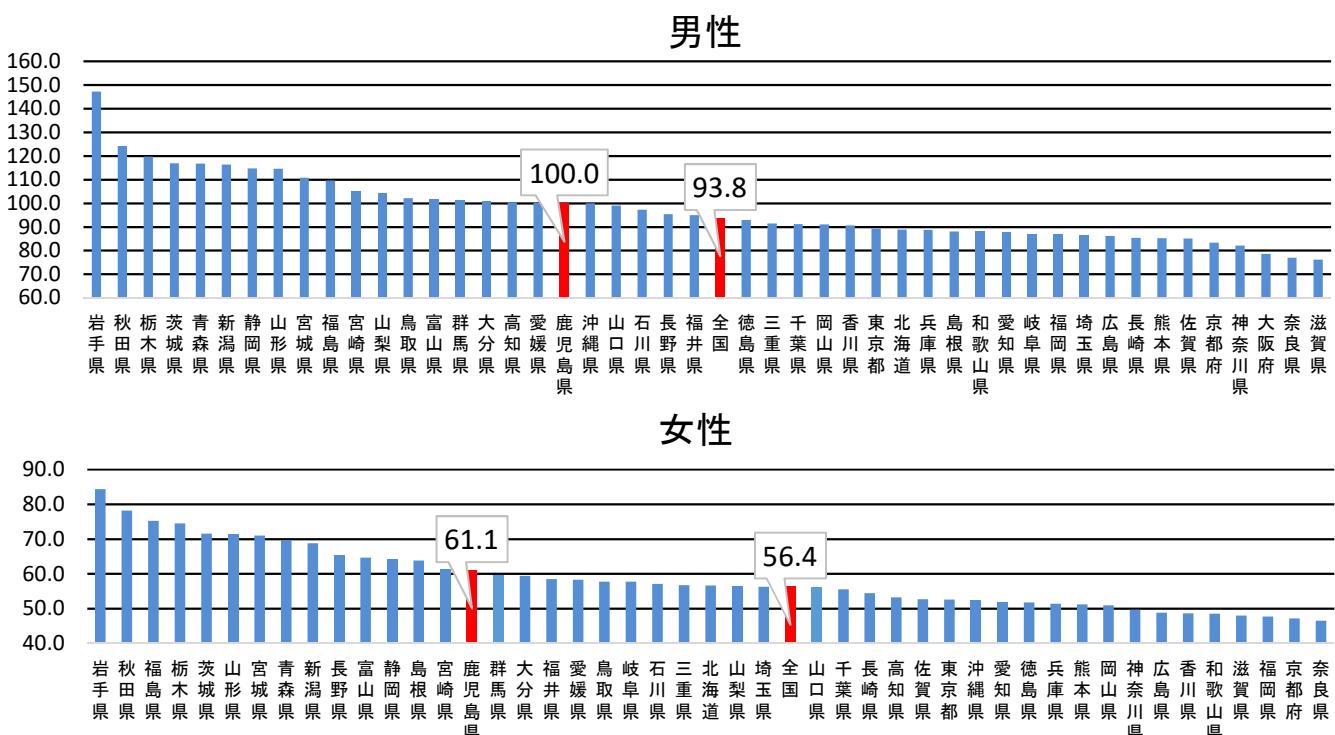
(1) 心疾患

令和2年の本県の心疾患の年齢調整死亡率は、全国平均より男性は低く、女性は高くなっている。



(2) 脳血管疾患

令和2年の本県の脳血管疾患の年齢調整死亡率は、男女ともに全国平均よりも高くなっている。

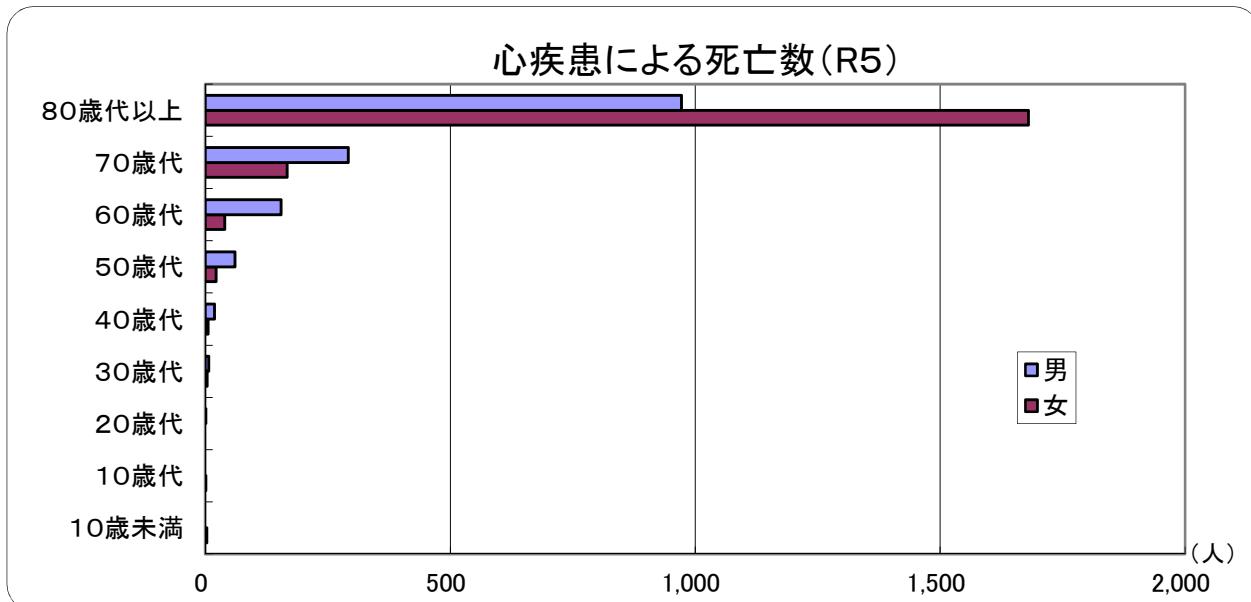


5 心疾患の状況（出典：人口動態統計）

(1) 本県における心疾患の年齢階級別死者数（令和5年）

死者者全体の77.3%を80歳代以上が占めている。

40～70歳代では男性の死亡者数が多く、80歳代以上では女性の死亡者数が多くなっている。



年齢階級別死亡数(人)

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	計
男性	0	0	1	7	19	61	155	292	972	1,507
女性	3	1	0	4	6	22	40	167	1,680	1,923
総数	3	1	1	11	25	83	195	459	2,652	3,430

※ 年齢不詳は含まない。

年齢階級別死亡割合(%)

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	計
男性	0.00	0.00	0.07	0.46	1.26	4.05	10.29	19.38	64.50	100.0
女性	0.16	0.05	0.00	0.21	0.31	1.14	2.08	8.68	87.36	100.0
総数	0.09	0.03	0.03	0.32	0.73	2.42	5.69	13.38	77.32	100.00

※ 年齢不詳は含まない。

出典：人口動態統計

5 心疾患の状況（出典：人口動態統計）

(2) 本県における心疾患の死亡者数の内訳（令和5年）

心疾患の内訳では、男女とも心不全、急性心筋梗塞、不整脈及び伝導障害の順で多くなっている。

40～64歳では、男女とも急性心筋梗塞、心不全の順に多い。

65～84歳では、男女ともに心不全、急性心筋梗塞の順に多い。

85歳以上では、男性は、心不全、急性心筋梗塞の順に多く、女性は、心不全、不整脈及び伝導障害の順で多い。

	病態	40歳未満	40～64歳	65～84歳	85歳以上	合計人数	割合
男	慢性リウマチ性心疾患	0	0	7	8	15	1.0%
	急性心筋梗塞	2	48	169	112	331	22.0%
	その他の虚血性心疾患	0	23	62	70	155	10.3%
	慢性非リウマチ性心内膜疾患	0	3	21	47	71	4.7%
	心 筋 症	0	13	18	7	38	2.5%
	不整脈及び伝導障害	4	16	75	76	171	11.3%
	心 不 全	1	34	222	416	673	44.7%
	その他の心疾患	1	7	29	16	53	3.5%
合計		8	144	603	752	1,507	100.0%

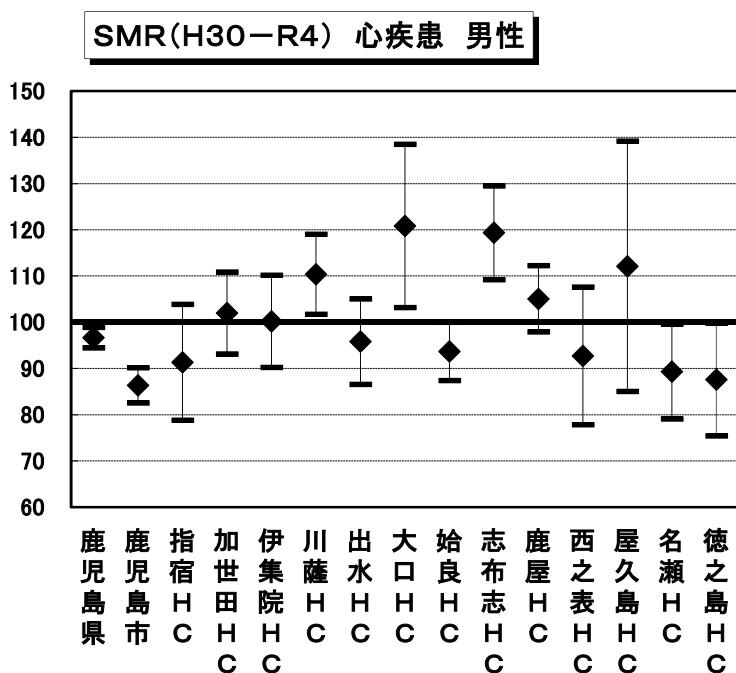
	病態	40歳未満	40～64歳	65～84歳	85歳以上	合計人数	割合
女	慢性リウマチ性心疾患	0	1	8	19	28	1.5%
	急性心筋梗塞	2	15	86	157	260	13.5%
	その他の虚血性心疾患	0	2	25	66	93	4.8%
	慢性非リウマチ性心内膜疾患	0	1	17	122	140	7.3%
	心 筋 症	0	2	10	16	28	1.5%
	不整脈及び伝導障害	1	5	47	203	256	13.3%
	心 不 全	1	13	178	882	1,074	55.9%
	その他の心疾患	4	4	18	18	44	2.3%
合計		8	43	389	1,483	1,923	100.0%

	病態	40歳未満	40～64歳	65～84歳	85歳以上	合計人数	割合
全体	慢性リウマチ性心疾患	0	1	15	27	43	1.3%
	急性心筋梗塞	4	63	255	269	591	17.2%
	その他の虚血性心疾患	0	25	87	136	248	7.2%
	慢性非リウマチ性心内膜疾患	0	4	38	169	211	6.2%
	心 筋 症	0	15	28	23	66	1.9%
	不整脈及び伝導障害	5	21	122	279	427	12.4%
	心 不 全	2	47	400	1,298	1,747	50.9%
	その他の心疾患	5	11	47	34	97	2.8%
合計		16	187	992	2,235	3,430	100.0%

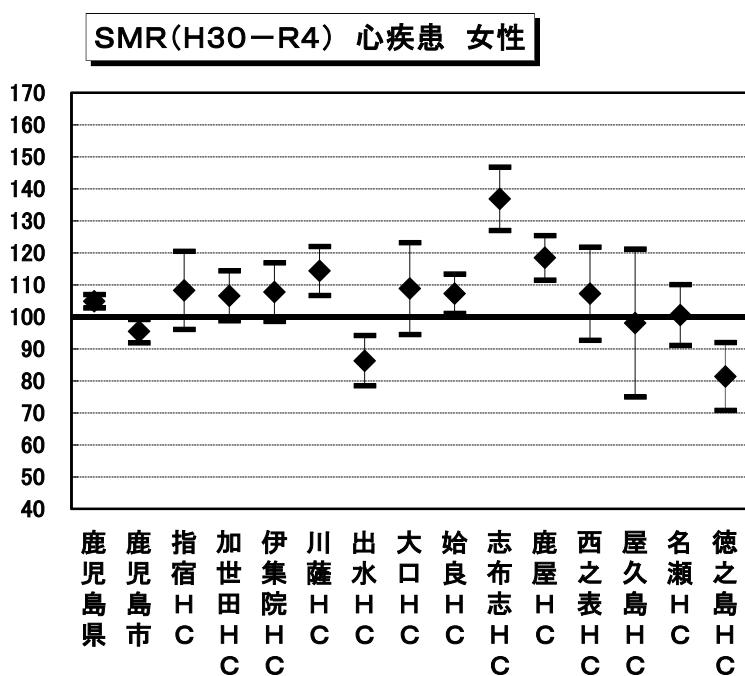
5 心疾患の状況（出典：人口動態統計）

(3) 心疾患の標準化死亡比（SMR）平成30年～令和4年

本県の心疾患のSMRは、男性は全国より低く、女性は全国より高い。
男性は大口H Cが最も高く、女性は志布志H Cが最も高い。



市町村名 県、保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	98.9	96.7	94.4
鹿児島市	90.2	86.4	82.6
指宿H C	103.9	91.3	78.8
加世田H C	110.8	102.0	93.2
伊集院H C	110.1	100.2	90.2
川薩H C	119.0	110.4	101.7
出水H C	105.1	95.8	86.6
大口H C	138.5	120.8	103.2
姶良H C	100.0	93.7	87.4
志布志H C	129.5	119.3	109.2
鹿屋H C	112.2	105.1	97.9
西之表H C	107.6	92.7	77.8
屋久島H C	139.2	112.1	85.1
名瀬H C	99.5	89.3	79.1
徳之島H C	99.8	87.6	75.4



市町村名 県、保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	107.6	105.5	103.4
鹿児島市	101.1	97.4	93.6
指宿H C	117.6	105.6	93.6
加世田H C	113.7	105.9	98.2
伊集院H C	115.8	106.7	97.6
川薩H C	119.3	111.7	104.1
出水H C	96.7	88.7	80.7
大口H C	118.1	104.2	90.2
姶良H C	114.6	108.4	102.1
志布志H C	150.3	140.3	130.3
鹿屋H C	126.9	119.9	112.9
西之表H C	134.7	119.3	103.9
屋久島H C	117.8	95.1	72.3
名瀬H C	104.3	95.0	85.8
徳之島H C	90.6	80.1	69.6

資料：人口動態統計を基に健康増進課作成

SMR：全国の年齢構成ごとの死亡率を本県の人口構成に当てはめて算出した期待死亡数と実際の死亡数を比較するもの。全国を100とし、100を超えるれば死亡率が高い、小さければ低いと判断される。

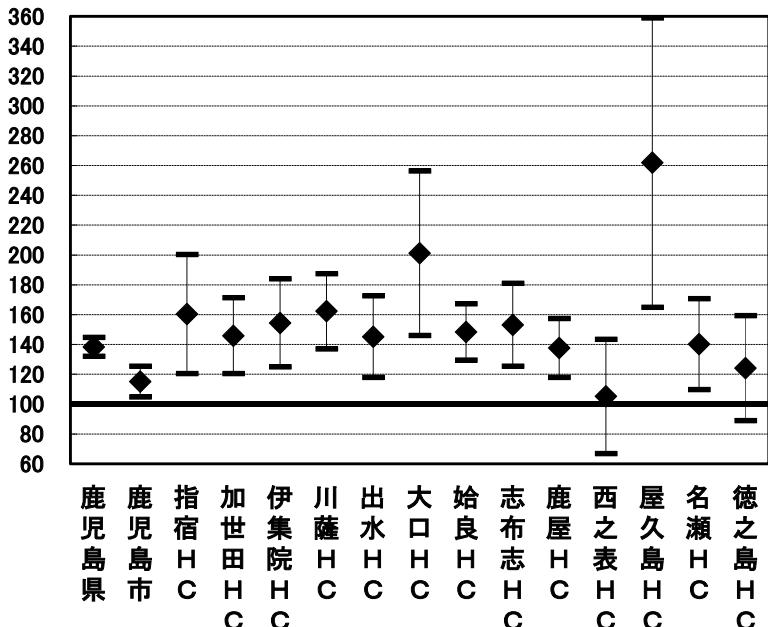
5 心疾患の状況（出典：人口動態統計）

(4) 急性心筋梗塞の標準化死亡比（S M R）平成30年～令和4年

本県の急性心筋梗塞のS M Rは、男女ともに全国より高い。

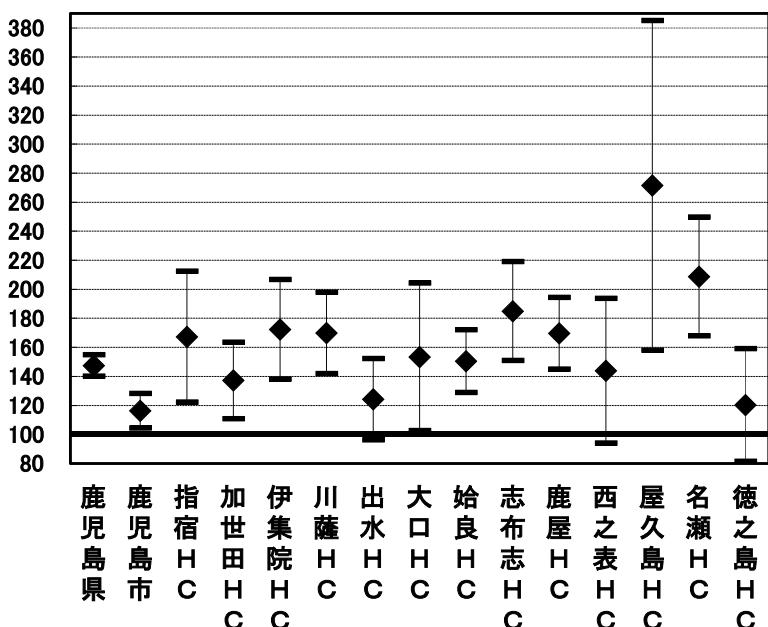
男女とも屋久島H Cが最も高い。

SMR(H30-R4) 急性心筋梗塞 男性



市町村名 県、保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	144.8	138.4	132.0
鹿児島市	125.5	115.2	104.9
指宿HC	200.3	160.4	120.4
加世田HC	171.4	145.9	120.4
伊集院HC	184.1	154.5	125.0
川薩HC	187.5	162.3	137.1
出水HC	172.7	145.3	117.9
大口HC	256.5	201.2	146.0
姶良HC	167.2	148.4	129.5
志布志HC	181.0	153.2	125.5
鹿屋HC	157.4	137.7	117.9
西之表HC	143.5	105.2	66.9
屋久島HC	358.9	261.9	164.9
名瀬HC	170.8	140.3	109.7
徳之島HC	159.4	124.2	89.1

SMR(H30-R4) 急性心筋梗塞 女性



市町村名 県、保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	153.0	145.8	138.7
鹿児島市	135.4	123.4	111.3
指宿HC	204.8	161.7	118.5
加世田HC	167.0	141.1	115.2
伊集院HC	177.3	146.4	115.4
川薩HC	192.9	166.0	139.0
出水HC	148.7	121.7	94.7
大口HC	191.9	144.2	96.4
姶良HC	179.2	157.6	136.0
志布志HC	211.1	178.4	145.8
鹿屋HC	184.8	161.3	137.8
西之表HC	200.0	150.2	100.5
屋久島HC	379.8	269.6	159.4
名瀬HC	221.0	183.7	146.3
徳之島HC	135.9	101.4	66.8

資料：人口動態統計を基に健康増進課作成

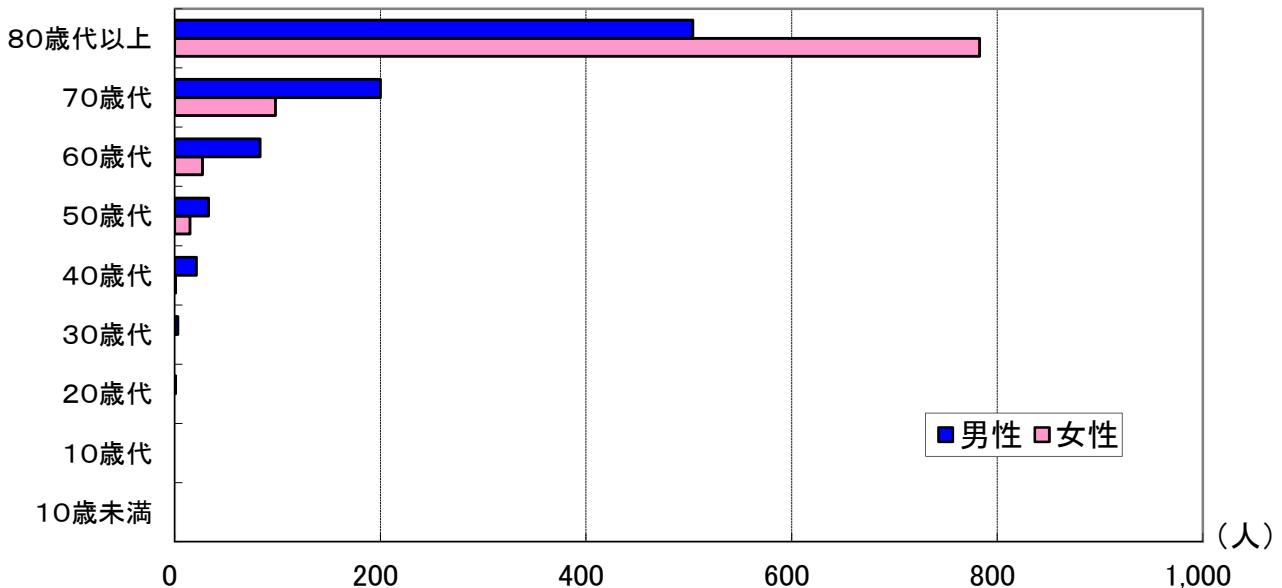
5 脳血管疾患の状況（出典：人口動態統計）

(1) 本県における脳血管疾患の年齢階級別死亡者数（令和5年）

死亡者全体の72.8%を80歳代以上が占めている。

40～70歳代では男性の死亡者数が多く、80歳代以上では女性の死亡者数が多くなっている。

脳血管疾患による死亡数(R5)



年齢階級別死亡数(人)

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	計
男	0	0	1	3	21	33	83	200	504	845
女	0	0	0	0	1	15	27	98	783	924
総数	0	0	1	3	22	48	110	298	1,287	1,769

※ 年齢不詳は含まない。

年齢階級別死亡割合(%)

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	計
男	0.00	0.00	0.12	0.36	2.49	3.91	9.82	23.67	59.64	100.00
女	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11	1.62	2.92	10.61	84.74	100.00
総数	0.00	0.00	0.06	0.17	1.24	2.71	6.22	16.85	72.75	100.00

※ 年齢不詳は含まない。

5 脳血管疾患の状況（出典：人口動態統計）

(2) 本県における脳血管疾患の死亡者数の内訳（令和5年）

脳血管疾患の内訳では、男女とも脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血の順で多い。

40～64歳では、男性では脳内出血、女性ではくも膜下出血及び脳内出血が多い。

65～84歳では、男女ともに脳梗塞、脳内出血の順に多い。

	病態	40歳未満	40歳～64歳	65歳～84歳	85歳以上	合計人数	割合
男	くも膜下出血	3	27	19	6	55	6.5%
	脳内出血	1	39	158	65	263	31.1%
	脳梗塞	0	9	230	271	510	60.4%
	その他の脳血管疾患	0	1	11	5	17	2.0%

	病態	40歳未満	40歳～64歳	65歳～84歳	85歳以上	合計人数	割合
女	くも膜下出血	0	12	41	44	97	10.5%
	脳内出血	0	12	85	133	230	24.9%
	脳梗塞	0	4	87	488	579	62.7%
	その他の脳血管疾患	0	0	6	12	18	1.9%

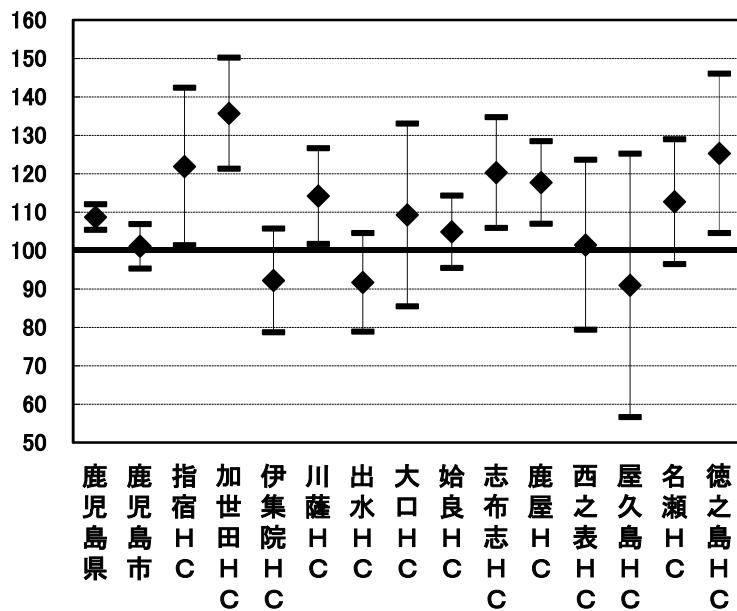
	病態	40歳未満	40歳～64歳	65歳～84歳	85歳以上	合計人数	割合
全体	くも膜下出血	3	39	60	50	152	8.6%
	脳内出血	1	51	243	198	493	27.9%
	脳梗塞	0	13	317	759	1089	61.6%
	その他の脳血管疾患	0	1	17	17	35	2.0%

5 脳血管疾患の状況（出典：人口動態統計）

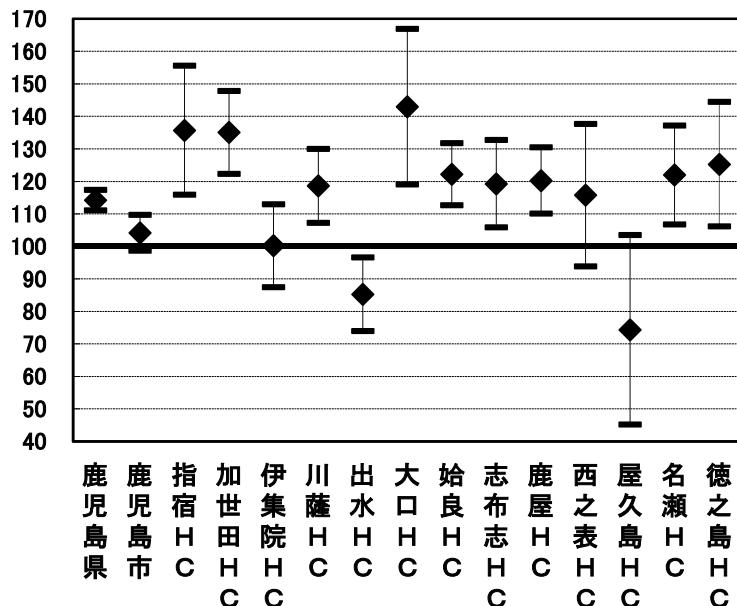
(3) 脳血管疾患の標準化死亡比（SMR）平成30年～令和4年

本県の脳血管疾患のSMRは、男女ともに全国より高い。
男性は加世田HCが最も高く、女性は大口HCが最も高い。

SMR(H30-R4) 脳血管疾患 男性



SMR(H30-R4) 脳血管疾患 女性

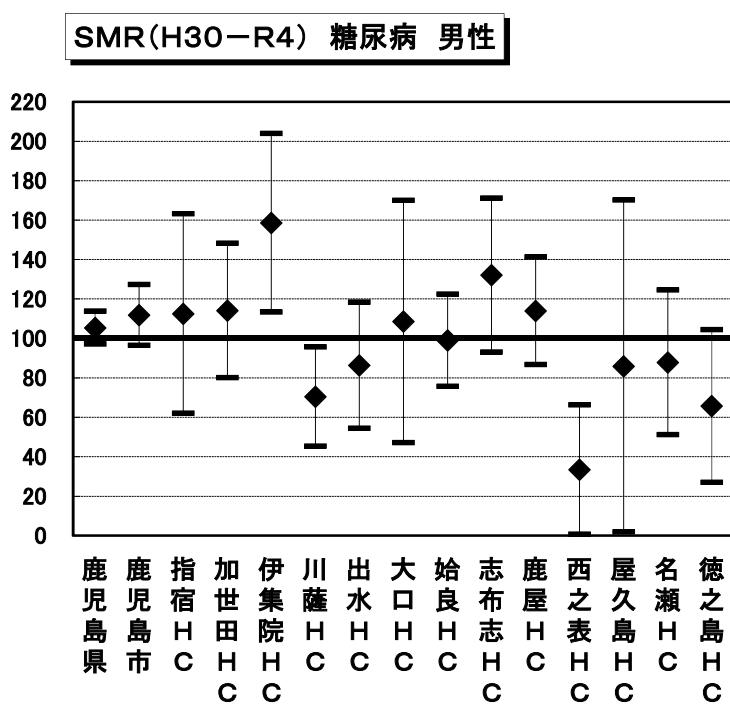


資料：人口動態統計を基に健康増進課作成

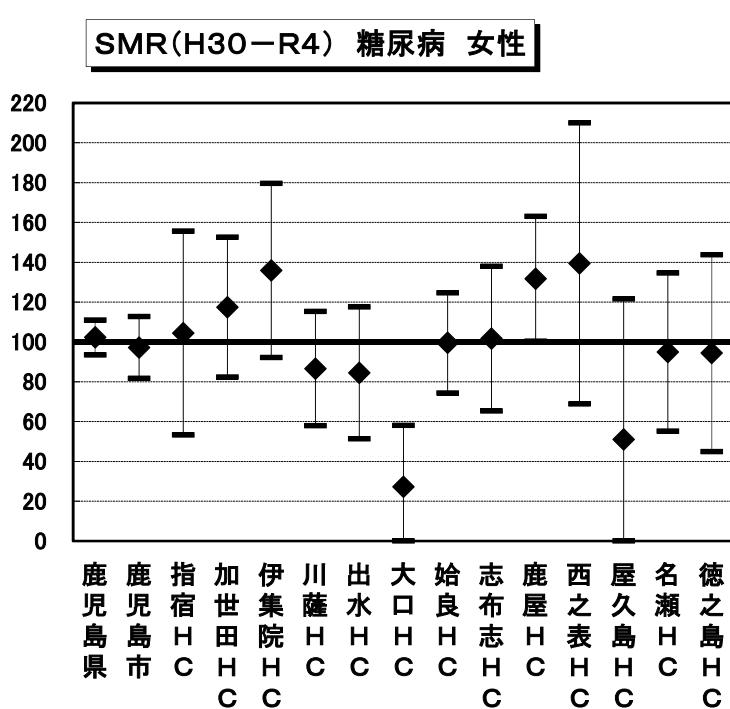
6 その他の疾患の状況（出典：人口動態統計）

(1) 糖尿病の標準化死亡比（SMR）平成30年～令和4年

本県の糖尿病のSMRは、男女ともに全国より高い。
男性は伊集院HCが最も高く、女性は西之表HCが最も高い。



市町村名 県、保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	113.8	105.4	97.0
鹿児島市	127.2	111.8	96.4
指宿HC	163.1	112.5	61.9
加世田HC	148.2	114.1	80.0
伊集院HC	203.8	158.5	113.2
川薩HC	95.6	70.4	45.2
出水HC	118.4	86.4	54.4
大口HC	169.9	108.5	47.1
姶良HC	122.3	98.9	75.6
志布志HC	171.0	132.0	93.0
鹿屋HC	141.3	114.0	86.7
西之表HC	66.1	33.4	0.7
屋久島HC	170.0	85.9	1.7
名瀬HC	124.5	87.8	51.1
徳之島HC	104.4	65.6	26.8



市町村名 県、保健所	上限 SMR	SMR	下限 SMR
鹿児島県	111.0	102.3	93.5
鹿児島市	112.8	97.2	81.7
指宿HC	155.6	104.4	53.3
加世田HC	152.6	117.5	82.4
伊集院HC	179.7	135.9	92.1
川薩HC	115.3	86.6	57.9
出水HC	117.6	84.5	51.4
大口HC	58.1	27.3	0.0
姶良HC	124.7	99.5	74.4
志布志HC	138.0	101.6	65.3
鹿屋HC	163.0	131.7	100.4
西之表HC	210.0	139.4	68.9
屋久島HC	121.6	51.0	0.0
名瀬HC	134.6	94.9	55.2
徳之島HC	143.8	94.4	44.9

資料：人口動態統計を基に健康増進課作成

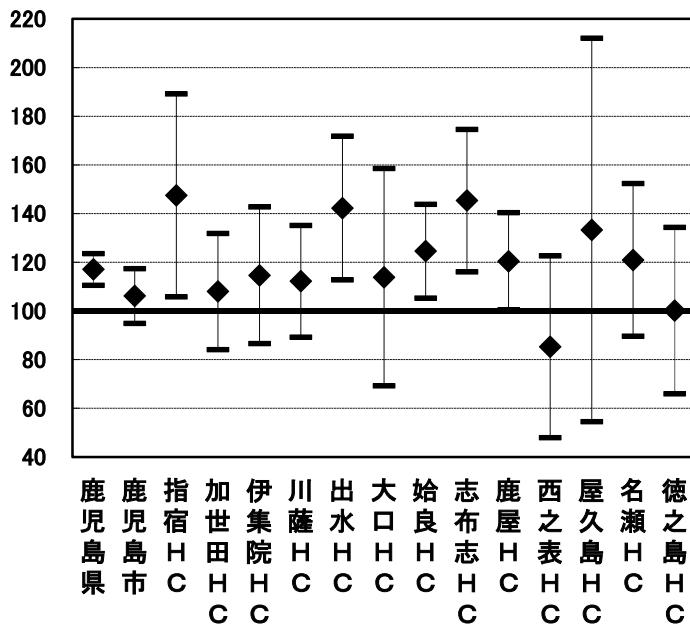
6 その他の疾患の状況（出典：人口動態統計）

(2) 腎不全の標準化死亡比（SMR）平成30年～令和4年

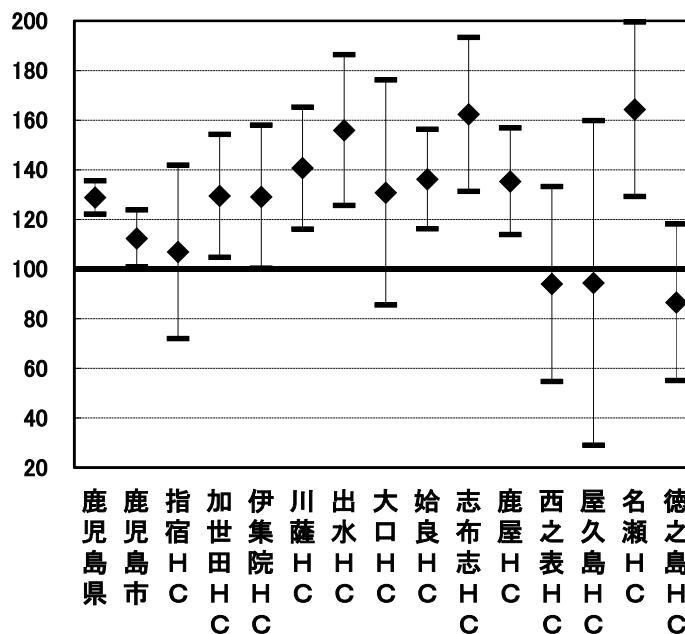
本県の腎不全のSMRは、男女ともに全国より高い。

男性は指宿HCが最も高く、女性は名瀬HCが最も高い。

SMR(H30-R4) 腎不全 男性



SMR(H30-R4) 腎不全 女性

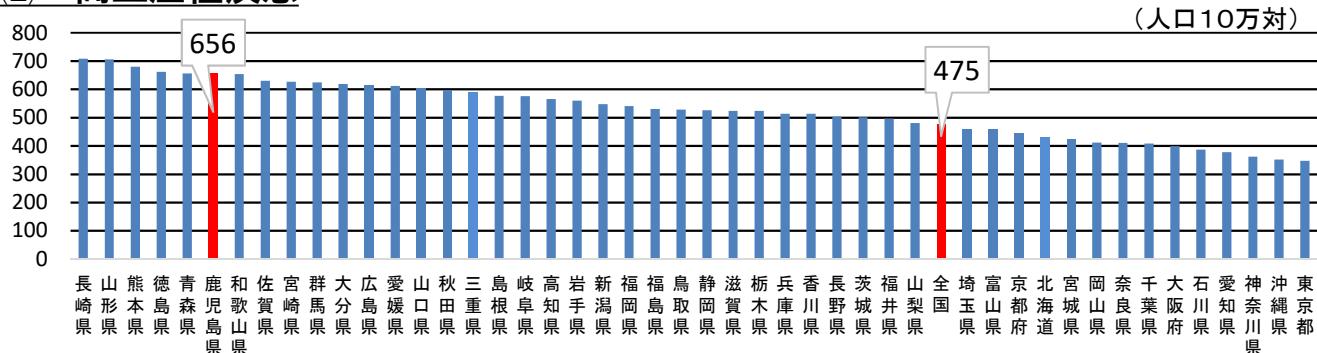


資料：人口動態統計を基に健康増進課作成

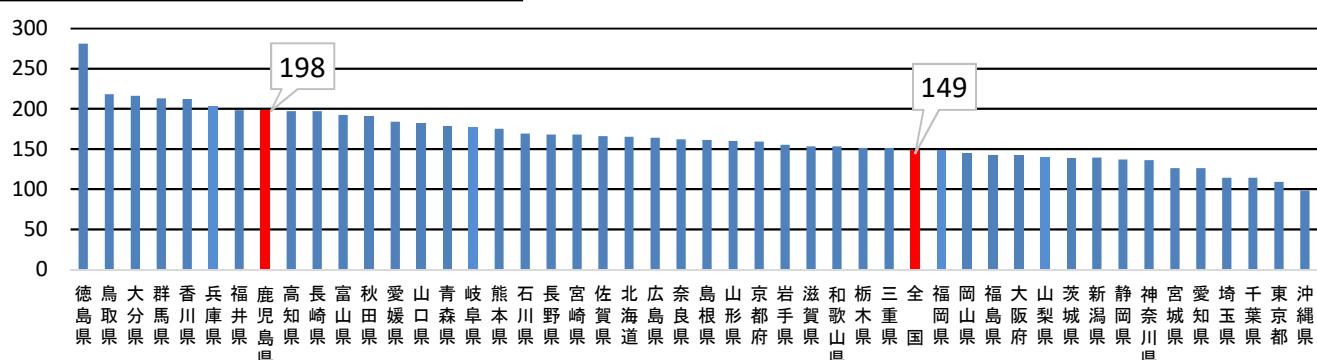
7 循環器系の疾患の受療率（出典：患者調査）

令和2年の本県の受療率は、高血圧性疾患、心疾患（高血圧性を除く）及び脳血管疾患が全国平均よりも高く、その他循環器系疾患は、全国平均と同程度となっている。

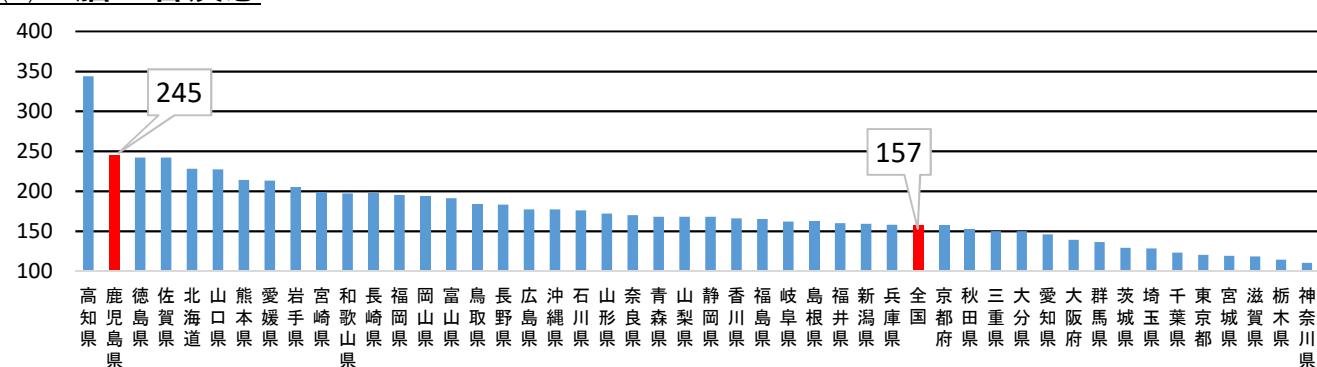
(1) 高血压性疾患



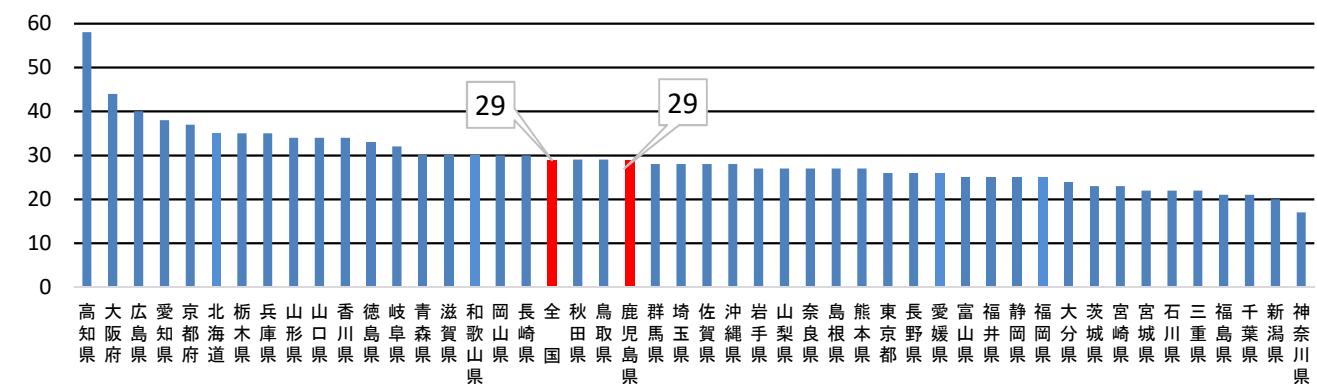
(2) 心疾患（高血圧性を除く）



(3) 脑血管疾患



(4) その他循環器系疾患



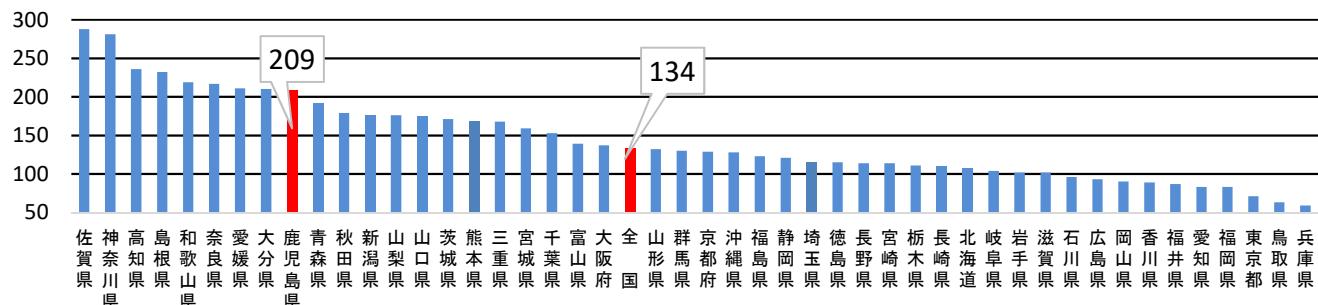
受療率：患者調査の調査日当日に、病院、一般診療所、歯科診療所で受療した患者の推計数を人口10万対であらわした数

8 その他の疾患の受療率（出典：患者調査）

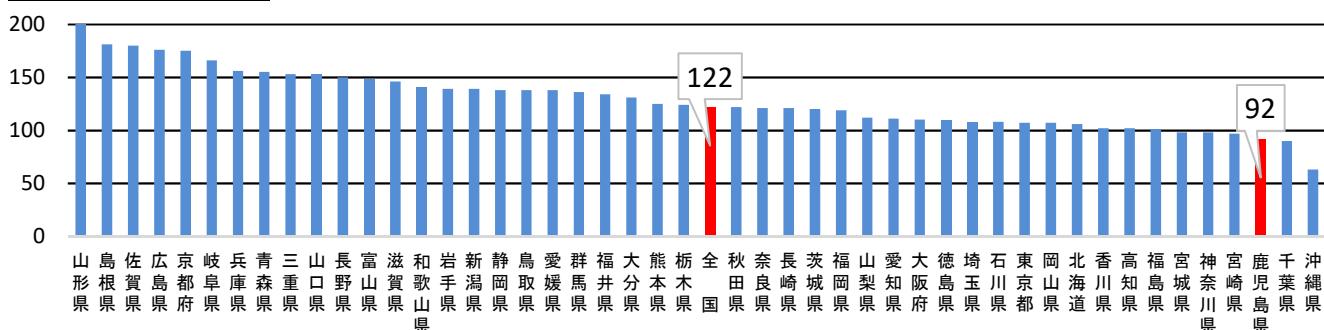
令和2年の本県の受療率は、糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全と糖尿病が全国平均よりも高く、脂質異常症と歯周炎及び歯周疾患は、全国平均よりも低くなっている。

(1) 糖尿病、腎尿細管間質性疾患及び腎不全

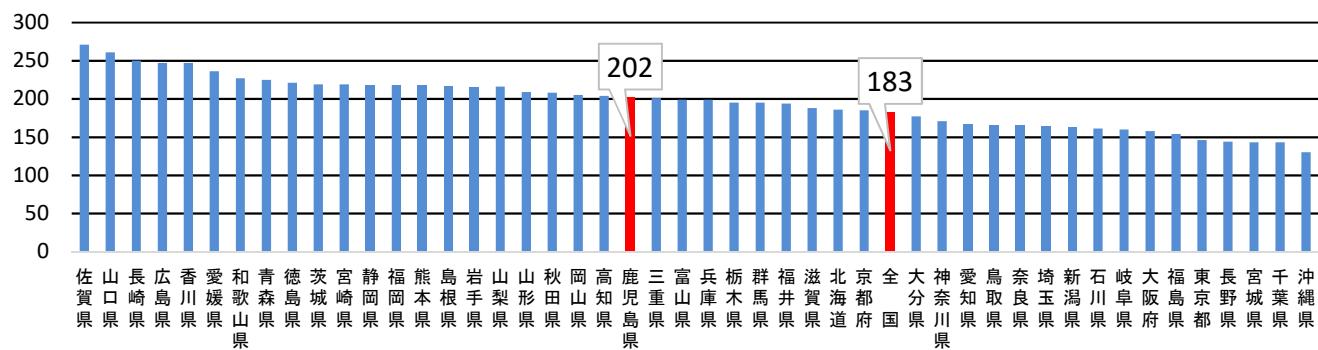
(人口10万対)



(2) 脂質異常症



(3) 糖尿病



(4) 歯周炎及び歯周疾患

